

がんの早期発見に向けた新たな取組を開始します！！

日本では、生涯に2人に1人ががんになると言われており、自分や身近な人など、誰でもがんにかかる可能性があります。

このたび、女性を対象に子宮頸がんにおけるHPV検査の導入、70歳以上の方のがん検診受診の精密検査の無料化、がんのリスクが高い人に向けて遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）検査への新たな助成など、それぞれの方に必要な早期発見に向けた取組を開始し、市民の皆様のウェルビーイングを支えます。

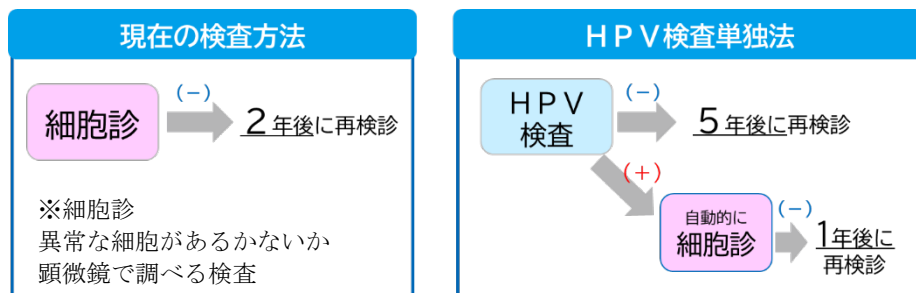
1 子宮頸がん検診におけるHPV検査単独法の導入

若い世代の女性のがんの中で多くを占めるがんである子宮頸がんの検診について、新たにHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染の有無を調べるHPV検査を導入し、より早期の発見に取り組みます。

※国の指針に基づくHPV検査単独法の導入としては、全国初の取組となります。

(1) 検査の概要（いずれの検査も子宮頸部の細胞を採取して行います）

ア 従来の検査との変更点



(2) スケジュール、対象者、自己負担額等

ア スケジュール

令和7年1月から開始

イ 対象者

- ・市内在住の30歳以上60歳以下の女性
- ・令和6年4月から12月末までに横浜市子宮頸がん検診を受診していない方

※対象となる方には、令和6年12月下旬以降、順次ご案内をお送りします。

※20歳～29歳、61歳以上の方は、従来どおり2年に1回の細胞診検査になります。

ウ 自己負担額

2,000円

エ 実施医療機関

約190か所の医療機関で受診できます。

(3) その他

今年も子宮頸がん検診の受診啓発とワクチンの理解促進を目指す「Teal Blue Japan（ティールブルー・ジャパン）キャンペーン」に賛同し、横浜市庁舎をティールブルーにライトアップします。

- ・実施日 令和6年11月17日（日）、18日（月）

【裏面あり】



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 70歳以上の精密検査無料化

70歳以上の方を対象に、令和7年1月以降に横浜市がん検診（無料）を受診して、精密検査が必要となった場合の検査費用を助成します。

(1) 対象者

- ① 令和7年4月1日時点で満70歳以上の方（昭和30(1955)年4月1日以前生まれ）
- ② 横浜市がん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮頸）を令和7年1月1日以降に受けた方
- ③ 横浜市がん検診の結果、医師から精密検査を受けるよう説明を受けた方

(2) 対象経費

横浜市がん検診を受け、国が定める標準的な精密検査を受けた場合の医療費の自己負担額

(3) 受付開始

令和7年1月（具体的な手続き方法は後日ご案内します）

3 がん検診実施医療機関検索機能の導入

約1,400か所あるがん検診実施医療機関を、土日・夜間の受診可否、最寄り駅、がんの種類等の情報から、希望の条件で検索ができるサイトを新たにオープンします。

(1) URL

<https://ganjoho.city.yokohama.lg.jp/screening/>

(2) 開設日

令和6年11月1日（金） ※開設日時までは利用できません。
（二次元コードからも同様です）



4 遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）検査の助成

遺伝性乳がん卵巣がん症候群は、遺伝によるがんの要因の一つです。保険診療での遺伝子検査は、一定の条件を満たした人に限られているため、がん未発症の方など、希望する方が自身の将来のがん発症リスクを知る機会を持つことができるよう、検査費用等を助成します。

(1) 対象者

親・子・きょうだいがHBOCであり、18～69歳の方

(2) 対象経費

遺伝カウンセリングや遺伝学的検査（血液検査）を受ける費用

項目	対象経費	補助率	上限額
遺伝カウンセリング	自費診療で支払った額	7/10	1万円
遺伝学的検査	自費診療で支払った額	7/10	3万円

(3) 受付開始

令和6年11月1日（金）（対象は6年4月1日以降に受けたもの）

お問合せ先				
(1、2に関する事)	医療局がん・疾病対策課 担当課長	長澤 昇平		Tel 045-671-4845
(3、4に関する事)	医療局がん・疾病対策課長	三室 直樹		Tel 045-671-2957



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

